

研究課題名 門脈圧亢進症による肝性脳症に対する逆行性門脈体循環短絡塞栓術の経過に関する検討

研究責任者名 広島大学大学院医歯薬保健学研究科放射線診断学 准教授 馬場 康貴

研究期間 倫理委員会承認後～2018年10月

対象者

2009年1月から2016年11月の間に、広島大学病院放射線診断科でIVR(逆行性門脈大静脈短絡路塞栓術)による治療を受けられた患者さん。

意義・目的

肝性脳症に対する逆行性門脈大静脈短絡路塞栓術の効果については有効であるということが明らかになっていますが、効果不良の原因についてはまだ解明されていません。今回、予後不良因子を解明することで肝性脳症に対する逆行性門脈大静脈短絡路塞栓術の適応を明らかにするため、この研究を計画しました。

方法

本研究は、診療録(カルテ)情報を調査して行います。カルテから使用する内容は患者さんの性別、年齢、病名、病因、治療方法、観察期間、血液検査データ(WBC, RBC, Plt, Alb, CRP, AST, ALT, 血糖, PT, 総ビリルビン, BUN, Cr)、臨床情報(腹水の有無、既往歴、肝性脳症の改善の有無、転帰など)、画像情報(CT, 血管造影)です。(個人を特定可能な情報は解析に用いませ

共同研究機関

なし

個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。

問合せ・苦情等の窓口

広島大学病院 放射線診断科

研究責任者(担当者): 准教授 馬場康貴

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5257